

アクティビティ STEP2-C1 Gift + Issue = Change ★★★★★

実施時間:30分

使用教材:アクティビティブック P.18-19 ガイドブック P.28

形式:個人ワーク/グループワーク

準備物:ワークシート(アクティビティブック P.19 を印刷したもの)

※次ステップでも使用するので保存しておくこと。

<活動内容>

STEP1-C3、STEP2-B1 を踏まえ、自分の好きなこと・やりたいことと、関心のある社会課題を組み合わせ、解決に向けたアクションを考える。

<目標>

- 自分の出来ること・好きなことと、関心のある問題を組み合わせたアクション書き出せている

<児童・生徒の状態目標>

- 自分の書いたアクションに対し、「できる・やるぞ」と意気込んでいる
- 他の人のアイデアを受け入れ、良い点を伝える等のフィードバックが出来ている
- 他の人のアイデアを、自らのアイデアのブラッシュアップへ積極的に用いている
- アイデアを出す事にワクワクしている

<授業の流れ>

概要	学習活動	留意点
導入 説明 1分 ワーク 4分	・ワークシートの「Gift」の欄に、自分が好きなこと、出来ること、趣味、特技等を 2 分以内で出来るだけたくさん書く。 ・同様に、「Issue」の欄へ、自分が興味のある問題(社会課題、国際問題、国内問題、家庭内問題、学校内問題、個人問題など、どんな問題でも構わない)を、2 分以内で出来るだけたくさん書く。	・+と=も書いてもらう。 ・Gift については、具体的に書かせる。(例:音楽→聴くこと・演奏すること等) ・自分の興味がない問題は、問題と知っていても Issue の欄へ書かないようにする。
アクションを考える ワーク 10分	・前ステップの「6 種類のアクション」を意識させつつ、Gift と Issue の欄に記入したものを組み合わせ、どんなアクションを起こせるかワークシートの「Change」の欄に書く。 ・例はアクティビティブック P.18 を参照。	・出来る、出来ないで考えるのではなく、思いついたアイデアをどんどん出すよう促す。 ・アクションは、楽しくできそうであることが重要。
アイデアのブラッシュアップ ワーク 5分	・他の人のアイデアを参考に、自分のワークシートを書き足す。 ・時間がある場合は、ワークシートをグループ内で交換し、アイデアを書き足したり、いいね等の反応を書いたりさせる。	
全体発表 発表 10分	・ワークシートの内容を、全体に共有する。	

アクティビティ STEP2-C2 S.M.A.R.T 目標を知ろう! ★★★★★

実施時間:45分

使用教材:アクティビティブック P.20 ガイドブック P.28

形式:グループワーク/グループワーク

準備物:STEP2-C1 で使用したワークシート(アクティビティブックP.19のコピー)

※次ステップでも使うので引き続き保管しておくこと。

<活動内容>

S.M.A.R.T 目標について学び、前ステップで考えたアイデアを更に具体化する。

<目標>

- 前ステップで書いたアイデアに S.M.A.R.T 目標の要素を追加し、ブラッシュアップされている

<児童・生徒の状態目標>

- S.M.A.R.T 目標を理解している(前ステップで自分の立てたアイデアに盛り込んでいる)
- 更にブラッシュアップした、自分の行動計画にわくわくしている

<授業の流れ>

概要	学習活動	留意点
S.M.A.R.T モデルの説明 説明 5分	・アクティビティブックP.20 を基に、S.M.A.R.T モデルを説明する。	
具体例による 練習 ワーク 15分	・「テストの点数/内申点を上げる」等、身近な例を出し、S.M.A.R.T 目標をクラス全体で考える。(小学生の場合、「算数の問題を早く解く」「速く走れるようにする」等)	・児童・生徒にとって身近な例を挙げるようにする。
行動計画の ブラッシュアップ ワーク 25分	・前ステップで書いたアクションと、S.M.A.R.T モデルを照らし合わせ、アクションをより具体化させる。	・アクションを行う上でぶつかる困難についても、何が障害なのか、どうすれば克服できるか考えさせるようにする。